

令和元年度アイヌ施策推進地域計画目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
札幌市	札幌市アイヌ施策実施プラン	令和5年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における目標	目標値 (A)	実績値 (B)	達成率 (%) (B/A)	備考
文化体験講座参加者数	240 人/年間	180 人/年間	75%	
アイヌ文化交流センター来館者数	53,000 人/年間	58,241 人/年間	110%	
体験プログラム参加学校数	130 校/年間	90 校/年間	69%	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
文化体験講座参加者数	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開催時期が限られ、定員を下回る講座もあり、目標値の達成には至らなかった（年間15回開催）。	
アイヌ文化交流センター来館者数	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年1月以降来館者が減少したものの（同年3月は臨時休館）、それ以前までに多くの来館者が得られたことで、目標値を達成した。	
体験プログラム参加学校数	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止とした学校もあり、目標達成には至らなかったが、プログラムの設定に学校側の要望を考慮したり、送迎バス利用助成の拡充を行ったことで、前年度比で18%（14校）増加した。	

【札幌市アイヌ施策推進計画における意見等】

- ・市内のアイヌ関連団体の意見を十分に聞いた上で、事業展開を行う必要がある。
- ・活動指標の達成状況だけでなく、成果内容についても考慮が必要である。
- ・次の20年、30年先を見据え、アイヌ施策の展開に取り組む必要がある。

## 2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

### (1) アイヌ文化の保存又は継承に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
(令和元年度実施事業なし)	
事業の効果	

### (2) アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
文化体験講座は、今後の事業展開により、令和3年度以降300人/年間の達成を目指している。令和元年度においては目標達成に至らなかったが、改善策を検討の上、今後、数値目標の240人/年間の達成に取り組む。	札幌市
事業の効果	
文化体験講座への参加を通じ、市民が気軽にアイヌ民族の歴史や伝統文化に触れ、よりアイヌの伝統等に関する理解を深める契機を創出した。	

### (3) 観光の振興その他の産業の振興に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
アイヌ文化交流センターの来館者数は、今後の事業展開により、令和5年度において62,000人/年間を目指している。令和元年度においては、目標数値53,000人/年間を上回る来館者が得られたが、展示環境の改善や体験機会の拡充などにより、次年度以降も数値目標の達成に取り組む。	札幌市
事業の効果	
屋内外の展示物の更新や、大型ディスプレイによる食文化の紹介、記念撮影コーナーの設置等、同センターの魅力向上や、来館者が理解を深めるための環境がより一層充実した。	

### (4) 地域内若しくは地域間の交流及び国際交流の促進に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
体験プログラムの実施については、令和元年度から令和5年度まで、各年度とも数値目標を130校/年間としている。今後、目標の達成に向け、無料送迎バスの導入などを実施していく。	札幌市
事業の効果	
体験プログラムの提供により、アイヌ民族との交流機会を創出し、児童・生徒がアイヌの歴史や伝統文化について理解を深める契機を創出した。	

### 3. 今後の方針等

札幌市アイヌ施策推進委員会における意見等を踏まえ、上記1に示した目標の達成状況のみならず、成果内容も踏まえながら、今後事業を展開していく。また、アイヌ関連団体との意見交換の機会を設け、その内容に十分配慮する。